

5月10日 土木交通委員会（岡田ゆき子委員長・高橋ゆうすけ議員）

請願・陳情審査

陳情3件は「ききおく」、請願1件は「保留」

世界の「AIOIYA」プロジェクトで整備案等を検討中

5月10日に土木交通委員会が開かれ、新規陳情3件と継続審査中の請願1件の審査が行われました。

検討会での取りまとめの段階。地元や関係団体等に説明、意見を聞いて検討する

「市道弥富相生山線」に関して、市長の道路事業廃止し公園として整備するという意見を表明して以降の「世界のAIOIYAMAプロジェクト」での検討状況が報告され、道路事業の廃止、近隣住宅地への入り込み対策、相生山緑地の整備に関して検討し、今年度はプロジェクト検討会として説明や意見交換を行っていきたい、との説明がありました。高橋ゆうすけ議員が「廃止した道路と同じルートでの園路計画なのか」とただしたところ「まだ案にはなっており、取りまとめの段階」と答えました。

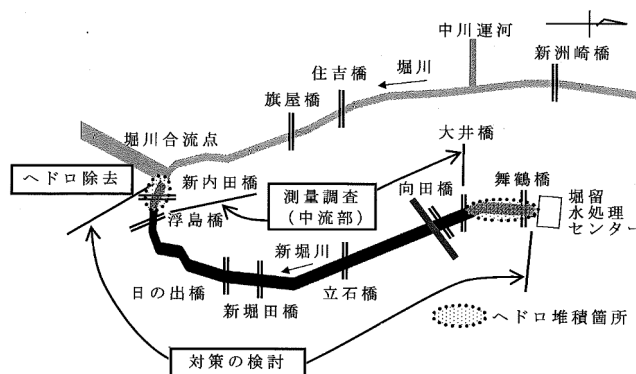
弥富相生山線の事業費

全体事業費	約36億円
執行済額	約29億円
工事中断（2010年1月）から2016年度までの現地保全等経費	
維持管理費	約2400万円
環境調査費等	約1億2300万円

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト		
区分	2018年度予算	内容
道路事業廃止に向けた検討	700万円	・都市計画変更素案の作成 協議・説明資料の作成 計画素案の修正
近隣地区の通過交通対策	1160万円	・工事の実施 車道幅員の縮小化 交差点ハンプの設置 狭さくの設定 交差点のコンパクト化 ・効果の検証に係る調査の実施
緑地整備の検討	620万円	・基本計画の策定 検討用模型の作成 有識者会議の開催 計画素案の修正 ・都市計画変更素案の作成 協議・説明資料の作成
計	2480万円	

新堀川の上流でもヘドロ除去を実施

新堀川では、一度全域でヘドロ除去を行ったが、また悪臭の苦情が増加。悪臭の原因は川底の貧酸素状態による硫化物であり、昨年度は下流のヘドロを除去しました。高橋議員が上流部での計画をただし、「検討会でのシミュレーションでは上流部でも除去を実施する必要がある、4月に契約したので、年末までに浚渫を完了したい」という答弁がありました。



新堀川における悪臭対策（2017年度での検討内容及び結果）

区分	内容
水質シミュレーション	・現況（ヘドロ除去前）、下流部のヘドロ除去後並びに下流部及び上流部のヘドロ除去後の3つのケースについて水質シミュレーションを実施した
有識者ヒアリング	・春から夏にかけてはヘドロに含まれる臭気成分が水中に溶出していると考えられる ・下流部のヘドロを除去して流動を生み出すことは、好気的な環境をつくる上で大事である ・貧酸素状態を改善するためには、底層の水を動かす必要がある ・水源がないため水量を確保できるとよい
検討結果	・下流部のヘドロ除去により中流域までの貧酸素状態は改善されるが、上流域の改善のためには、上流部のヘドロ除去が必要である

（注）有識者ヒアリングの対象者は水質、底質、河川工学、環境衛生工学の分野の有識者5名。好気的な環境とは酸素がある環境状態

土木交通委員会での請願・陳情の審査結果（2018年5月10日）

	請願・陳情名	請願・陳情者	結果
新規陳情	新堀川からの悪臭に対する臭気対策・環境改善を求める陳情	株式会社エステムプランニング	ききおく
	ヒメボタルが生息する相生山緑地を世界に発信できる緑地とするよう、素案づくりに当たっては、市長が道路事業を廃止した理由を市民と共有し、市民とともに進めることを求める陳情	相生山緑地を考える市民の会	ききおく
	相生山緑地については、園路の名のもとに道路を建設することをせず、また、生物多様性が損なわれるような緑地整備をしないことを求める陳情	相生山の自然を守る会	ききおく
保留請願	相生山緑地に関する道路事業の廃止及び整備について、「市民による住民意向調査」の集計結果を尊重し、反映させることを求める請願	相生山緑地を考える市民の会	保留